

EMPOWER YOUR COMMUNICATION SKILLS.

コミュニケーションスキル 強化 ワークショップ

英語を
使って

ドラマメソッド®のMLSが提供する
全く新しい参加型研修
ワークショップ、コース



参加者の声より
●今までは、言葉を交わすことが
コミュニケーションだと思って
いましたが、言葉はむしろ後付けだ
ということに気づき私の概念を
180° 覆えされました。

チームワーク

---- 協調性 ----

デリバリー

---- 心に響く表現力 ----

コンフィデンス

---- 自信をもって堂々と ----

社員が活性化され、明るい職場で生産性がアップ!

英語を使うことのメリット

- 1.研修の中で、ツールとして英語を使います。
「母国語でない言葉」で会話することにより、
飾らない「素の自分」が現れてきます。
- 2.自分の強い面・弱い面を改めて認識でき、職場の仲間の
意外な面を発見し、一体感が醸成されます。
- 3.自分をストレートに表現できるようになります。
- 4.相手との距離が一気に縮まります。
- 5.相手に「意図と意思」が確実に伝えられます。

以下のような方にお薦めの研修です。

- ★社員の表現力をもっと
伸ばしたい。
- ★社員また部署の垣根を越えて
協力関係を築きたい。
- ★中堅リーダーによりコミュニケーション上手に
なってもらいたい。
- ★専門知識の研修に偏りがちだが、もっ
と人間力を高める研修をしたい。

モデル・ランゲージ・スタジオ (MLS) とは

Model
Language
Studio

35年間ドラマメソッド® (演劇的手法)で英会話を教えてきたMLSは、ハリウッド映画(ラストサムライ、SAYURI、硫黄島からの手紙、シルクなど)に出演の多く俳優の方々に英語と表現表情の出し方を指導してきました。企業語学研修では、コミュニケーションスキルを英語でも日本語同様に生かせるよう日本コカ・コーラ様、本田技研工業様などグローバルに事業展開する企業様に「情報+感情」伝達パワー養成プログラムを提供し、好評を頂いております。

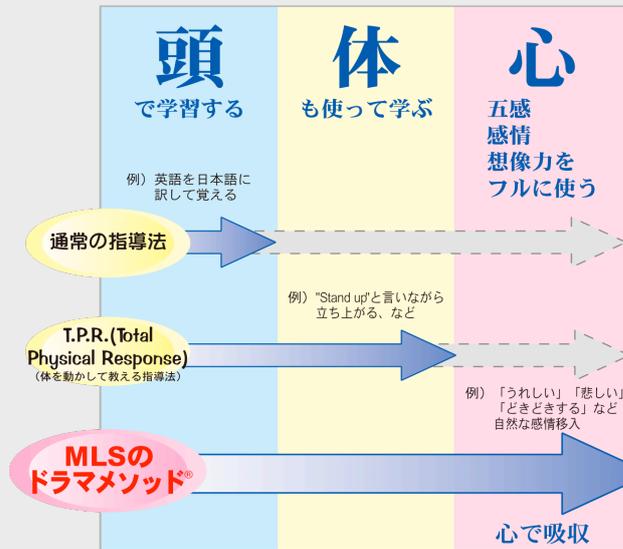
ドラマメソッド®とは

MLS独自の指導法は、「ドラマメソッド®」と呼ばれています。語学の教授にドラマ(劇)の要素を取り入れ、会話練習に「状況設定」や「意思・感情」「想像力」などを取り入れるのが特徴です。英語劇指導の手法を使って日常で起こるさまざまな出来事をクラスで疑似体験し、会話に感情移入しながらきわめて自然に、かつ効果的に外国語を使ってのコミュニケーションスキルを身につけることができます。ただの繰り返しによる丸暗記をできるだけ避け、受講生自身の考えを引き出し、それを自分の言葉として表現する練習をしていきます。単なる「知識」として外国語を覚えるのではなく、「自分の言葉」として自在に使いこなせるスキルを身につけることが可能となります。また毎回のレッスンの中核となる“Talk & Listen”指導により、コミュニケーション能力が高まり、世界中の誰とでもスムーズな意思の疎通がはかれるようになります。

Drama
Method®

ドラマメソッド®と他の指導法の違い

Drama
Method® &
Other
Training
Methods



ビジネス英語研修

「ドラマメソッド®」をビジネス英語研修に応用したMLSの語学研修プログラムにご興味のある方は右記へお問い合わせください。

受講希望者人気#1
Making an Impact
(プレゼン英語)

受講希望者人気#2
Win in Business
(交渉英語)

受講希望者人気#3
Improv in Business
(問題解決の英語)

Business
English
in Action

empowered by
the Drama Method®

お問い合わせは ☎03-5333-4558 まで
ウェブサイト

www.eigo-kenshu.com

ドラマメソッド®で変わるあなたのコミュニケーション!

MLSが自信を持ってお薦めする「コミュニケーションスキル強化ワークショップ」。

これまで弊社語学研修にご参加いただきました多くの皆さまから、「英語力のみならず、コミュニケーション能力が飛躍的に伸びた!」というフィードバックを多数頂戴しました。今回、皆さまのお声を基に、コミュニケーション能力強化に関する部分に焦点を絞ったコンテンツを開発しました。

一部英語で研修を行うことにより、これまでのコミュニケーション研修ではみられない成果と効果が見込まれます。明日からの仕事にすぐに活かせる「実践コミュニケーションスキル強化ワークショップ」の決定版です。IFIビジネススクール、生協などで大変好評で、直近の大手百貨店研修では**大変満足64%**、**満足36%**の評価をいただきました。

当パンフレットの講座の特徴、参加者の声などご参照いただき、ぜひ御社でもご検討ください。



---研修の特長---

Use
English
as a tool

研修は一部“英語”で行います。

簡単な英語と日本語での説明で研修を行います。英語で行うことの利点は;

●英語で行うと、参加者全員が同じレベルに立ち、“殻”が破れます。

- 日本語だと聞き流す事があるが、英語だとジェスチャーも含めて注意して聞き取るうとし集中力が養われます。
- 日本語は婉曲表現が多いですが、英語は直接的な表現が多く、ストレートに表現することを学びます。
- ファーストネームで呼び合いますので、一気に打ち解けます。
- 他の文化の言葉に浸ることにより、発想が広がります。

研修内容で強調されること。

● Fun – 参加して楽しい

- アイコンタクト強化
- リアクション強化
- デリバリー – 表現方法強化
 - a. 声と話し方
 - b. ポディラングージ
 - c. ビジュアルサポート
- トータル・インボルブメント
(全身全神経を集中し参加)



言葉以前の問題をまず解決します。

我々日本人が自己表現をしようとするときに、日本古来の文化(恥の意識、集団志向、型に収めるなど)が邪魔しています。これらは、日本固有の素晴らしいものであると同時に、グローバルな世界では、なかなか通用しないのも事実です。これらの認識を持ちながら、世界で通用する表現を学びます。

講師は、外国人またはバイリンガルスタッフ。

講師は、日本人の弱点がよく見えている者が的確にリードします。日本語での説明もありますので英語ができなくても安心して受講してください。また、これを機会に英語をもっと研修することもできます。ビジネス英語をご希望の方は別途資料お問い合わせください。

期待できる成果は多大です。

●アイスブレイクができ、協調性、スムーズなコミュニケーションスキルが培われます。

- 自己表現力が磨かれます。また推察、類推力が養われ、発想が広がり、他の人を受け入れやすくなります。
- リポート(報告)トークから、ラポート(双方)トークへ変身します。
- マニュアルを超えた「心からのコミュニケーション」ができるようになります。
- 朝礼や会議など、人前で話す機会の多い方に効果を発揮します。

*当研修は、必ずワークショップを受けてから、希望のコースへとお進みください。

ワークショップ 概要：3時間 × 2回

(一回のダイジェスト版も可能です)

6名から多人数対応可。人数により講師数が変わります

内容

第一回

- *コミュニケーションの基本
- *お互いをよく知ろうエクササイズ
- *英語の文化圏に身を置いて表現
- *自然に声が大きくなるエクササイズ
- *コンタクトを取りたくなるエクササイズ
- *対話文（ダイアログ）で会話をする
- *対話をより活性化させるエクササイズ
 - 1) アイコンタクト、声の柔軟性を養う
 - 2) さまざまな状況で会話を行う # 1

第二回

- *コミュニケーションの応用
- *ボディランゲージを使う
- *羞恥心を克服する方法
- *Visual Support（視覚に訴える表現力）
- *対話文（ダイアログ）で会話をする
- *対話をより活性化させるエクササイズ
 - 1) さまざまな状況で会話を行う # 2
 - 2) 自分たちで作った状況で行う
- その他コミュニケーション強化エクササイズ
- *英語対話文の発表

コース 概要：各コース 1.5時間 × 12回

(各コース6または 12名まで)

コースの種類

Aコース 自己表現力向上コース

内容：コミュニケーションゲーム、感情表現トップ10対話文

Bコース デリバリー（朝礼、プレゼン、自己紹介スピーチにおける）向上コース

内容：デリバリー強化ゲーム、自己紹介スピーチ、話材提供（世界の逸話、ことわざ、riddles and jokes, 落語など）

Cコース 自己表現、デリバリースキル短期速成。上記1,2のエッセンス抜粋コース

（回数、時間は ご相談に応じます）

Dコース 表現力を高める英語劇コース

内容：表現力とともに仕事で使える英語も習います。

Eコース パーティ用 英語劇スキット上演コース

内容：アクティングゲーム、即興力、貴業界に合った内容のスキット。

*ワークショップ、コースとも英語、日本語で行います。

*ビジネス英語研修は別途お問い合わせください。

参加者の声

大手百貨店販売リーダーの皆様より

●一方的な説明では、コミュニケーションではないことを学びました。お互いに理解し合わなければ、意思は伝わらないし同じ目的で仕事を効率良くできないと実感しました。

●自分では伝えていると思って、相手にきちんと伝わっていることは意外に少ないのだということに気付かされました。

●アイコンタクトや、大きな声、身振り手振りを大きく使ったりすることを効果的に使えば、より伝えたいことが伝わりやすいのだということ、数々のゲームを通して学びました。

●コミュニケーションは口だけでなく、体全体を使って相手と心を通わせることが大切だということを改めて思いました。

●私が一番伝えたい部分は何だろう、どこにアクセントをつけたら分かりやすいのだろうか、どのような表情をし、どの位のペースで話をしているのか等、研修後、朝礼、ミーティング、上司との会話など、様々な場面で意識をしています。

●英語で会話することでいつもより相手を意識した結果、コミュニケーションを取る際に大切なものを再確認できました。